

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	5	平 野 武 志	
<p>1. 町政執行方針について</p> <p>平成26年度町政執行方針は、第6次木古内振興計画の初年度にあたります。今後、振興計画が順調に進められていくかを見定める重要な年度になると考えられますが、数項目について確認を含め町長の考えを伺います。</p> <p>(1)「国と地方を取り巻く情勢」の中で、『新幹線の開業効果を最大限に活用するための「最も重要な一年」と位置づけ、「職員が一丸」となる。』と記載されています。</p> <p>特に、新幹線駅開業に対する思い入れについては、町民に対する意識の高揚を図るべく、職員が意識を高く持つことが必要不可欠だと考えますが、担当していない課によってはまだまだ関心が薄い職員も多いと感じています。全職員へ意思疎通を図るため、町長はどのような指示や対応を行っているのか伺います。</p> <p>(2)「家庭・児童福祉」の中で、『人間関係の希薄化が進む中で』と現状社会を分析しています。</p> <p>その後の文面では、子育て世代の生活環境整備の施策についての記載があります。施策については理解しますが、田舎町木古内町として人間関係の希薄化についての思いが述べられていないことは残念でした。</p> <p>町政に臨む基本姿勢の1にも記載しているとおり、「思いやりと温もりのある町政」を目指すのであれば、希薄化を改善すべく木古内町の大胆な思いを掲げて良いと思いますが、町長の考えを伺います。</p> <p>また、学童保育の支援については、「別途検討が必要」と記載されています。現在、木古内町では2カ所の民間保育所が学童保育を運営していますが、大変厳しい運営状況だと聞いています。振興計画や予算案にも反映していないと思いますが、ここに記載した「別途検討」とはどのような意味を持っているのか、町長の考えを伺います。</p>			町 長

(3)「国保病院に関する執行方針」の中で、平成24年10月から全部適用となり、基本方針のもとに住民の幸せに貢献していきたいとの思いは理解しています。

しかしながら、町民の国保病院への思いを多数の方から伺うと、まだまだ信頼を得ているとは言いがたい状況だと思えます。日本病院機能評価機構の審査を3月に受けるとの事ですが、町民からの評価はどの程度把握しているのでしょうか。現状把握をしているのであれば、その対策を小澤病院事業管理者と連携しどう取り組んでいるのか。また今後、どのような取り組みを考えているのか、町長の具体的な考えを伺います。

(4)「雇用」についての記載は、とても稀薄な感じで例年と変わらない文言であり、積極的な雇用の創出に努めるという思いは感じられません。

定住・移住対策という最重要課題の大きな問題点でもある雇用場所の拡充については、積極的な企業誘致が必要であり、木古内町内に現場や事務所を置く様々な業者に対し、町民への積極的な雇用推進を図るべきだと考えます。

また、農業対策でも2次加工までの記載しかありませんが、3次産業・6次産業の展開による地域の新規企業者の開拓など、多数の可能性があると思えますが、町長はどのような考えなのか伺います。

(5)「人口減対策」については、人口の推移や予測を見ると大変深刻であり、今までも対策をどうするのか申し述べてきました。今後、予測どおり、あるいはそれ以上に人口減が進めば財政危機となり、自治体として成り立たなくなる事も危惧されます。最重要課題であるこの対策が、振興計画や執行方針にも特に記載もなく、強い憤りさえ感じています。

過去にも、「担当課で進めていく」という答弁をいただいておりますが、一向に進展していないように感じています。

定住対策・移住対策と併せ、「人口減対策プロジェクトチーム」を設けるべきだと思えますが、町長の考えを伺います。